

## 平成 25 年環境生活委員会 開催状況

開催年月日 平成 25 年 9 月 9 日 (月)  
 質問者 自民党・道民会議 吉川 隆雅 委員  
 答弁者 竹谷環境生活部長  
 濱口アイヌ政策推進室長  
 近藤アイヌ政策推進室参事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 「民族共生の象徴となる空間」について</p> <p>(一) 象徴空間の整備に係る進捗状況について (吉川委員)</p> <p>私からは、現在国において進められておりますアイヌ政策に関しまして、「民族共生の象徴となる空間」づくりについて何点か伺わせていただきます。この「民族共生の象徴となる空間」につきましては、平成 20 年 6 月に衆参両院において全会一致で採択をされた「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」を受けまして、内閣官房長官の下に設置をされた「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」の報告書において、その整備が提言され、平成 24 年には、象徴空間の基本構想が策定されたところであり、現在は、その基本構想に沿って具体的な検討が行われているところであると承知しております。まず最初に、この整備の進捗の状況について伺いたいと思います。</p> <p>(二) 新聞報道について (吉川委員)</p> <p>そこで、先日、新聞でも報道されていたところでもありますけれども、今月の 11 日には、菅内閣官房長官が来道されて、高橋知事も委員となっているアイヌ政策推進会議がこの道庁の赤れんが庁舎で開催されるものと伺っております。この会議の中で、整備に向けた具体的なスケジュール案が国から示され、協議される予定であると聞いておりますが、新聞報道の中では、北海道アイヌ協会の加藤理事長をはじめ、多くの方が肯定的なコメントを出していたように感じておりますけれども、道として、今回の報道の内容をどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>(三) 整備後の象徴空間とイオルの連携について (吉川委員)</p> <p>最後になりますけれども、道内各地域では、既にイオル再生事業の取組が先行して進められているところがございます。私は、この象徴空間の取組と地域でのイオル再生事業の取組は、相互に連携をして機能していくことが非常に重要であると考えており、道としてどのように考えているのか、また、どのような役割を担っていこうとしているのか伺って、質問を終わります。</p>	<p>(アイヌ政策推進室参事)</p> <p>象徴空間の検討状況についてであります、「民族共生の象徴となる空間」は、平成 21 年に取りまとめられました「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」の報告書におきまして、我が国が将来に向けて、先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴として位置づけられているところであります。</p> <p>昨年 7 月に取りまとめられました基本構想におきましては、アイヌ文化振興などに関するナショナルセンターとして白老町に建設することや、展示・調査研究、文化伝承・人材育成といった象徴空間の機能、ゾーニングのイメージなどが示されたところであります。</p> <p>この象徴空間全体の基本構想に基づきまして、文化伝承・人材育成といった事業展開などに関するもの、中核施設であります博物館に関するもの、公園的な土地利用に関するものの三つの分野に分かれて現在議論が行われておきまして、この 8 月 29 日には、博物館に関する基本構想が取りまとめられるなど、検討が進んできているところであります。</p> <p>(アイヌ政策推進室長)</p> <p>象徴空間の整備スケジュールなどについてでございますが、道といたしましても、9 月 11 日のアイヌ政策推進会議において、象徴空間開設までの具体的スケジュールが示されることを期待しているところでございます。</p> <p>象徴空間の整備による、アイヌの歴史・文化等に関する国民理解の促進や将来へ向けたアイヌ文化の継承、新たな創造・発展に対する関係者の期待は大きく、そうした気持ちが報道等のコメントに現れているものと受け止めているところでございます。</p> <p>今後、象徴空間の具体的な検討を進めるに当たっては、これまで以上にアイヌの人たちの意見を十分に伺いながら進めていくことが重要と認識しているところでございます。</p> <p>(環境生活部長)</p> <p>象徴空間とイオル再生事業との連携についてでございますけれども、国では、白老地域におけるイオル再生事業を象徴空間の全体のプロジェクトの中に位置づけ、事業を再構築した上で実施することとしております。</p> <p>また、それ以外の地域で行われるイオル再生事業につきましては、象徴空間における各地域の工芸作品の展示・販売機会の提供や象徴空間から各地域に対する</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
	<p>伝承活動等への人材派遣など、有機的な連携のあり方について検討を行うとしております。</p> <p>道といたしましても、アイヌの人たちが、先住民族としての誇りを持って、我が国の貴重な文化であるアイヌ文化を復興・発展させていくことができるよう、それぞれの地域の特色を生かしたイオル再生事業の充実とともに象徴空間の取組などとの連携強化について、様々な機会を通じて国に働きかけて参ります。</p>